

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社オフィスマリヤマ		
事業所名	グループホーム花 Aユニット		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1-11		
自己評価作成日	2025年10月1日	評価結果市町村受理日	2026年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action.kouhyou_detail.022.kani=true&JigvosyoCd=0172902587-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	2026年1月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・広い畑があり入居者様と一緒に苗植えから収穫まで行っている。水まき、草取りをして関わり野菜を育てる楽しみ、食べる楽しみを味わう事ができ、調理に取り入れている。 ・畑には毎年、その年に流行ったキャラクターのかかしを作成し、入居者様、地域の方に喜んでもらっている。 ・夏祭り、流しそうめん、七夕、クリスマスなど毎月様々な行事があり季節の変化が感じられる。 ・地域との関わりを大切にし、近隣の保育園園児の訪問があったり、町内活動のフラワーロード、ゴミ広いに参加し関係を深めている。 ・感染予防に力を入れ、換気や除菌をこまめに行なっている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>設立から20年を迎えた「グループホーム花」は、バス停から徒歩1分と利便性が高く、近隣にはコンビニエンスストアや商店があり、生活に便利な地域に立地した事業所である。代表が設計した2階建て2ユニットの事業所は、台所と事務室を中心とした回廊式の造りで、全居室に洗面台とトイレを備えている。共用空間や浴室には床暖房を設置し、各所に温度差が少なく、快適に過ごせる環境が整えられている。職員は理念を基に毎月各ユニット目標および個人目標を設定し、振り返りや事例等を通して学びを深め、情報を共有し日々の支援に活かしている。これらの取り組みは、介護計画や日々の支援記録からも確認できる。また、家族会の開催や家族アンケートの実施を通じて意見や要望を聞き取り、支援の充実につなげている。発想豊かな職員の提案により、毎月の行事のほか、毎年利用者と共に制作する案山子は地域の方々にも親しまれている。敷地内の広い花壇や畑では、土起こしから収穫までを利用者と共に行い、桃やブルーベリーを育てるなど、自然に触れる活動も継続している。事業所名の「花」とおり、玄関や共用空間にはたくさんのお花が飾られ、壁紙にも花の絵が施され柔らかな心地よい雰囲気が感じられる。理念にそい、利用者一人ひとりに寄り添いながら、最期まで安心して暮らすことができる事業所である。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回理念についての勉強会を開き、指針を明確化するとともに、評価を行い、次年度につなげている。また、理念を基にした各自の目標や取り組みも明確にしている。 ・朝夕の申し送り等で理念を読み上げ、全ての職員が理念を身近なものとして感じられる機会を作っている。 	<p>基本理念は事業所内の各所に掲示している。理念に基づき、毎月の会議で各ユニット目標および各自の目標を設定している。申し送り時に目標を読み上げ、日々の支援に反映できるよう意識づけを行っている。また、目標の振り返りについては文書で提出し、施設長と話し合う機会を設けている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の役員を務めて地域に貢献している。 ・地域活動フラワーロードへの参加や町内清掃など入居者様と一緒にしている。 	<p>地域の活動には、利用者と共に参加している。近隣の幼稚園児との交流も続いており、利用者の楽しみとなっている。毎年恒例の職員と利用者が制作する案山子は近隣の方の楽しみにもなっている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さんからの施設選びや認知症対応についての相談を受けている。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員より意見を頂き、サービス向上に努めている。文書による。 ・コロナ過で積極的な運営が出来ない。 	<p>運営推進会議は感染症予防のため書面で実施している。活動内容からテーマを取り上げ、推進委員から意見や要望、感想等を得て書面で回答し、その内容を運営に反映させている。</p>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・市に対して、分からない点、疑問点を放置せず、都度確認しながらコンプライアンスの維持に努めている。 ・市や道に対する報告事項も適正に行なっている 	<p>介護保険課担当者とは運営推進会議に関する書面を取り交わしている。法改正等不明な点は、施設長が指導監査課に確認を取り、協力関係が築かれている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・花の方針として身体拘束は行わないが、身体拘束適正化検討委員会を立ち上げ、身体拘束があれば身体拘束適正化委員会で議論することになっている。勉強会も行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会を作っている。 ・夜間以外は玄関の鍵も掛けることはなく、入居者様を外に出たい時は職員と一緒に出ている。 	<p>具体的な禁止行為11項目を含めた身体拘束に関する指針を、職員が常に意識できる箇所に掲示している。委員会は3か月ごとに開催し、職員研修を年2回実施している。ユニット会議等ではグレーゾーンについても事例を挙げて話し合い、日々の支援に努めている。</p>	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。 ・痣や傷の大きさが0.5mm位の小さなものでもユニット内で共有し、牽制し合う体制ができている。 		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性が認められる入居者様には、関係者と話し合い、後見人を選任していただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約は、十分な時間を取り説明を行っている。その後についても施設とご家族様が互いに話しやすい環境提供に努め、疑問点については都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族には電話や通信で連絡を取っている。 ・ご家族様に対し、ケアプラン更新時に書面にて苦情要望等の情報を収集して対応している。 ・家族会で意見を反映している。	毎月、写真付きの「花だより」と個別の便りを送付している。面会時や電話連絡時にも家族の意向や要望の把握に努めている。年1回開催する家族総会では、家族アンケートも実施し、意見の収集を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日朝夕の申し送り時や、全体会議やユニット会議等で、職員の意見を聞き、業務に反映している。	月例会議や定期的に行われる各種勉強会時に職員の意見や要望を聞き取り、業務に反映している。また、各自の月目標の振り返り時にも意見や要望を聞く機会を設けている。さらに全職員が日勤帯のリーダーとして業務にあたる体制をとっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・キャリアパス制度を導入するとともに、毎年10月に職員の昇給昇格を行っている。 ・資格試験の合格者に対して全体会議で表彰している。また報奨金や資格手当を支給している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・月一度内部研修を開き、必要な部分はネットの外部研修も取り入れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・今年はない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅へ訪問し、ご本人、ご家族の方と話し合いをして情報収集を行い、何が必要か？どんなサービスが必要か？一緒に考え関係作りをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	自宅へ訪問し、ケアマネ、ご家族の方と面談、聞き取りを行い要望を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネ、ご家族様からの情報を聞き取り、認知面、身体の状態を実際に見て見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみ、茶葉詰めなどの家事手伝いを一緒にに行い、出来る事は進んで行なって頂き、出来ないところをお手伝いしている。まだやっていただけることを増やしたい。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りで生活状況を伝えたり定期的に電話をする方もいる。面会時は近況報告を行なっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀状のやり取り、電話をして関係が途切れない様に支援している、いつでも電話は使える環境にある。	家族・親族、友人の面会もある。携帯電話を利用している利用者には発着信等の支援を行っている。また、訪問理美容師とも継続的に関わり、馴染みの関係となっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を考え席を決めている。レクリエーションや作業を一緒に行き孤立しない様に気を配っている。大きいソファがあり数人で談笑できるスペースもある。		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・長期入院で退去したり、亡くなったりした利用者様のご家族様と交流があり、ウエスなどを寄贈していただいたりするなど、とても良い関係を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	衣類や食事、娯楽等について入居者様に尋ねたり日頃から観察する事で要望の把握に努めている。また会議などで情報共有しどの様にするか決めている。	職員同士で利用者の細かな変化を日常的に共有し、重度化が進み表出が難しい利用者についても、その思いや意向を汲み取りながら支援にあたっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様からの情報を個人ファイルにまとめている、いつでも確認出来る所にある		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタル、食事量、排泄、1日の様子を記録し、申し送りでスタッフ間で共有している。一人一人に合わせ、その人らしさを大切にしながら生活支援をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、サービス担当者会議を開きで問題点を話し合い、施設長、スタッフと意見交換を行ない、介護計画を作成している。	居室担当職員も含め、全職員で毎月モニタリングを行い、理念にそった介護計画の評価や見直しを、本人の意向も取り入れて作成している。職員は個々の計画内容を把握した上で支援している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録書きを行っているが十分でない部分もある。月1回の会議でケアプランの見直しに向けた意見交換を行い検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・旬の行事を数多く取り入れている。 ・面会なども安心安全を基本に実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・コロナ禍で思うように対応が出来ない。ただしフラワーロードなどの町内活動には参加している。 ・地域のSOS事業(行方不明者捜索)に協力している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診と専門医受診があり、先生に生活状況を報告し相談しながら進めている。結果についてはご家族様に電話や毎月のお便りでお知らせしている。	全利用者が協力医の往診を月2回受けている。他科受診は協力医の指示を仰ぎ、職員が同行支援を行っている。看護職員と共に利用者の健康管理にあたっている。受診内容は家族と共有している。	

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診時に日々の生活の様子、身体面、精神面を書面や口頭でも伝え情報を共有している、何かあればいつでも電話対応できる関係にある。ホーム内に看護師もいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院へ情報提供し、こちらの要望を伝えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者様の状態に合わせ、病院、ご家族様、施設長との面談を行なっている。	利用開始時に重度化についての対応を説明し、同意を得ている。医師により終末期と診断された場合は、医師、家族、事業所の話し合いを行い、本人の意思を尊重した支援に努めている。なお、今年度も1名の看取りに尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会を行い、色々な事を共有している。その中に急変時や事故発生対応の項目があり、スタッフは知識と技術を身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・日中想定避難訓練を春秋一度づつ行い、別に夜間想定防災火災避難訓練も行い実際に地域の避難場所へ移動している。 ・BCP対応もできている。	避難訓練は火災発生を想定した日中帯および夜間帯の訓練を規定回数以上実施している。防災設備会社の協力を得て発電機の始動訓練も行っている。また、緊急時には近隣住民にも通報が行く体制となっている。	規定以上の防災訓練を行っているため、その実施記録の整備を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に敬語を意識し声のトーン、大きさに気を配っているが親しみ過ぎる言葉遣いの時もある。入居者様の前ではスタッフ間は部屋番号で呼び合っている。 ・丁寧な言葉遣いが出来ていない時がある。	定期的に接遇研修を実施し、気になる声かけや対応があれば全職員に周知して適切な対応を確認している。申し送りは部屋番号で行い、個人記録類はカウンターの下で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	衣類、テレビ、ドリンク、昼寝などスタッフで決めつけず、ご本人の希望を聞いたり選択しやすい声かけを工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴、おやつなど決まっているものがあるが一人一人のペースに合わせ必要な支援を考えている。一人歩きのリスクが高い入居者様には傍に付く事はあができるだけ自由に過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に一部介助で整容する方がほとんどで、身だしなみには注意している。ご自分で服を選ぶのが困難な方はその人の雰囲気や大切にスタッフを選んで選んでいる。行事ではお化粧をしている。		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、メニューをボードに書き、提示して楽しみにしてもらっている。畑で収穫した野菜を使ったり、一緒に盛り付けや後片付けなど行なっている。	食材会社の献立で職員が調理をしている。行事食として天丼やカツ丼にしたり、寿司やパン食なども取り入れている。畑の野菜や家族からの差し入れが食卓に上がることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人に合った水分量、食事形態や量を提供している。摂取状態に合わせ全介助、一部介助で対応している、バランスの良い食事が出来る様に栄養管理士が献立を考えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行なっている、マウスウォッシュやマウスジェル、歯間ブラシなどその方に合ったグッズを使用し清潔保持している。拒否で出来なかった時は時間を置いたりスタッフを変えたり工夫している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時誘導の他に排泄パターンによってトイレ誘導している。全介助の方も便座に座って頂き自立排泄を促し、夜間のみオムツを使用するなど一人一人に合わせている。	全員の排泄を記録し、個々に応じた声かけや誘導でトイレでの排泄を支援している。自力でトイレに行けるように、利用者の状態にあわせてトイレの場所を表示している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の牛乳の提供と週に2回バナナミルクを提供している。水分量のチェック、体操や廊下歩きの運動を取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の曜日や時間は決まっているが、ゆっくり入りたい方、さっと入りたい方や熱いお湯が好きな方など要望に沿えるようにしている。	午前中を中心に、一人週2回の入浴を支援している。気の合う利用者同士で入ったり、職員と話をしながら入浴を楽しんでいる。好きなシャンプーなどを使っている方もいる。希望に応じて同性介助でも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝が必要な方には休んで頂き、テレビを観たり読書されたり居室で過ごされたり穏やかに休息出来るようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬手帳や個人ファイルに薬の詳細が載っておりいつでも確認出来る。変更がある時は受診往診ノートや申し送り情報で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節ごとの行事、遊び、家事、畑作業、読書やテレビ鑑賞など得意な事、やりたい事を楽しみながら、何かしら毎日出来る様にスタッフ間で協力しながら行なっている。 *もっと取り組めることをあと思う。		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	夜間のみ鍵をかけ、日中は開いており自由に入出入り出来る。コロナ予防があり家族との外出は難しいがドライブ行事で市外に行けた。夏は外活動に力を入れ、スタッフ同行で散歩をしたり、敷地内に出て気分転換を行なっている。	冬季以外は敷地内外を散歩したり、職員と一緒に畑の草むしりや野菜の収穫などを行っている。外出行事で、春光台公園や美瑛町のラベンダー見学に出かけている。地元の神社に初詣に行った方もいる。夏季は玄関ドアを開け、自由に庭先に出られるようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は現金所持者はいない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持して、こまめにやり取りされる方や、施設の電話でご家族様とお話しされる方もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎に飾りを変えたり、廊下には行事で撮った写真が飾ってある。リビングは日当たりが良く、キッチンから見渡せる様になっている。浴室は広く足を伸ばして湯舟に入る事が出来る。高齢者の方が歩きやすい安全は作りとなっている。換気は1日2回行なっている。	台所や事務所を中心にした回廊式で、テラスに面した居間と食堂には大きな窓から明るい光が注いでいる。玄関には、新年に合わせて職員手作りの「花神社」が設けられている。玄関や居間、廊下には花や外出行事の写真などがたくさん飾られており、家庭的な温もりが感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはテーブル席の他にソファがあり、テレビを観たり団らんの場となっている。玄関前にもソファがあり一人で座る場所に適している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分で使用されていた家具、電気あんか等馴染みのある物を持って来て頂いている。家族の写真などがたくさん飾っている方もいる。	各居室に収納棚と洗面台、トイレが備え付けられている。使い慣れたタンスや仏壇、テレビなどを持ち込んで使いやすく配置している。写真や好きな小物類、職員からのプレゼント色紙などを飾り、その方らしい落ち着いた居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ、廊下に手すりを設置している。身体の動きに合った家具の配置にしている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社オフィスマリヤマ		
事業所名	グループホーム花 Bユニット		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1-11		
自己評価作成日	2025年10月1日	評価結果市町村受理日	2026年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・広い畑があり入居者様と一緒に苗植えから収穫まで行っている。水まき、草取りをして関わり野菜を育てる楽しみ、食べる楽しみを味わう事ができ、調理に取り入れている。 ・畑には毎年、その年に流行ったキャラクターのかかしを作成し、入居者様、地域の方に喜んでもらっている。 ・夏祭り、流しそうめん、七夕、クリスマスなど毎月様々な行事があり季節の変化が感じられる。 ・地域との関わりを大切にし、近隣の保育園園児の訪問があったり、町内活動のフラワーロード、ゴミ広いに参加し関係を深めている。 ・感染予防に力を入れ、換気や除菌をこまめに行なっている。
--

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action.kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosyoCd=0172902587-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	2026年1月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・年一回理念についての勉強会を開き、指針を明確化するとともに、評価を行い、次年度につなげている。また、理念を基にした各自の目標や取り組みも明確にしている。 ・朝夕の申し送り等で理念を読み上げ、全ての職員が理念を身近なものとして感じられる機会を作っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・町内会の役員を務めて地域に貢献している。 ・地域活動フラワーロードへの参加や町内清掃など入居者様と一緒にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域の皆さんからの施設選びや認知症対応についての相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進委員より意見を頂き、サービス向上に努めている。文書による。 ・コロナ過で積極的な運営が出来ない。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・市に対して、分からない点、疑問点を放置せず、都度確認しながらコンプライアンスの維持に努めている。 ・市や道に対する報告事項も適正に行なっている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・花の方針として身体拘束は行わないが、身体拘束適正化検討委員会を立ち上げ、身体拘束があれば身体拘束適正化委員会で議論することになっている。勉強会も行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会を作っている。 ・夜間以外は玄関の鍵も掛けることはなく、入居者様が外に出たい時は職員と一緒に出ている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。 ・痣や傷の大きさが0.5mm位の小さなものでもユニット内で共有し、牽制し合う体制ができています。		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性が認められる入居者様には、関係者と話し合い、後見人を選任していただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約は、十分な時間を取り説明を行っている。その後についても施設とご家族様が互いに話しやすい環境提供に努め、疑問点については都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族には電話や通信で連絡を取っている。 ・ご家族様に対し、ケアプラン更新時に書面にて苦情要望等の情報を収集して対応している。 ・家族会で意見を反映している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日朝夕の申し送り時や、全体会議やユニット会議等で、職員の意見を聞き、業務に反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・キャリアパス制度を導入するとともに、毎年10月に職員の昇給昇格を行っている。 ・資格試験の合格者に対して全体会議で表彰している。また報奨金や資格手当を支給している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・月一度内部研修を開き、必要な部分はネットの外部研修も取り入れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・今年はない。		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (Bユニット)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居者様とお話して把握できるように努めています			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族様とお話して把握できるように努めています			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居者様、ご家族様とお話して、情報を集めています			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・出来る事はやって頂いて、一緒に色々な作業をしています 作業中コミュニケーションを大切に、出来ない事も出来る様に関り一緒にしています			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・必要なものはご家族様をお願いして頂いたり、持ってきてもらったりしています ・面会の時に近況などの報告をしています ・毎月花便りを作っています			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・面会や、希望があれば電話が出来る様に対応をしています			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・仲の良い入居者様同士を同じテーブルについてもらったり、作業も一緒に出来る様に対応をしています ・レク活動などを通じて入居者様同士交流できるようにしています ・食事、おやつ、ドリンクタイムなど皆さんと一緒に過ごせる時間を作っています			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・長期入院で退去したり、亡くなったりした利用者様のご家族様と交流があり、ウエスなどを寄贈していただいたりするなど、とても良い関係を保っている。			

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の会話や、対応などの関わりの中で観察し、可能な限り把握できるように務めている ・会議の場などで情報共有を行っている 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族様とお話して情報を集めています ・個人ファイルを確認したり、スタッフ間で情報共有を行っています 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の行動、対応などの関りの中で観察しています ・一日一日の状態に応じて対応している ・バイタル、食事量、排泄など一日の動向を記録し、申し送りなどで共有しています 		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の時や、申し送りの時などにスタッフで話し合いをしています 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・記録に記載し、申し送りの中でスタッフ間で意見交換を行う ・ケアプラン実施内容について記録し記入している 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の行事を数多く取り入れている。 ・面会なども安心安全を基本に実施している。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で思うように対応が出来ない。ただしフラワーロードなどの町内活動には参加している。 ・地域のSOS事業(行方不明者捜索)に協力している。 		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・受診往診の対応、情報を共有できるようにしています 		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・その人について、生活状況を含め体調をお話しています 		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	・情報を把握し、早期退院を依頼するとともに、分からない事があれば聞く様にしています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・状態、状況を見て面談を行っています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・緊急対応マニュアルに沿って対応し、勉強会などで改めて学んでいます		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・日中想定避難訓練を春秋一度づつ行い、別に夜間想定防災火災避難訓練も行い実際に地域の避難場所へ移動している。 ・BCP対応もできている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・会議や日常の中で気になる事について都度他の職員と話し合い、注意し合える環境になるように務めています ・その人にとって恥ずかしさがないように努力しています ・常に敬語を意識し、相手の人格を尊重しながら対応しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・選べる声かけをしています ・個々に合わせた対応を働きかける様に務めています ・何か行う時はこちらで思いを決めつけずに出来るだけ入居者様の意思をうかがうようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・お話の中で見定めて対応をしています ・施設側の都合や、一人歩きにリスクが高い入居者様はスタッフが側につき事があるが、出来るだけ自由に過ごせるように配慮しています ・基本的にご本人が納得できるように取り組んでいます		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・季節、イベントに合わせて行っています。約ひと月～ひと半月で訪問理容・美容をお願いしています ・食事などで服に汚れがないか確認していますが、状況によってそのままになってしまうことがある ・入居者様から衣類の要望があれば都度対応をしています 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の食材を使った料理、おやつを作っています。見た目、味付け、盛り付けに気を使っています ・メニューボードに献立を書いて楽しみになるようにしています。特食の日にいつもと違ったものを出して楽しんで頂けるようにしています ・畑と一緒に収穫した野菜を料理で提供したりしています 		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の摂取量を把握するように努めています ・入居者さまに適した食事形態で提供し、特に水分は必要量を摂取できるように気を付けています ・一日三回の食事、ドリンク、おやつの時間を取ります。その時食べれない、飲めない人にも時間をおいて提供しています 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・その人に合わせたやり方で、毎食後口腔ケアを行っています。義歯の場合夜間帯で洗浄剤で清潔にしています ・ご本人で出来る事はして頂き、仕上げでスポンジや歯間ブラシなどを使っています 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくトイレでの排泄が出来る様に対応をしています ・起床就寝、食前後、状況におうじてトイレの声かけを行っています、全介助の方にも時々便座に座って頂き、自力排泄を促している ・個々に合わせた時間に誘導しています 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・水分を多くとり、乳製品や寒天なども食べて頂いています ・毎朝の牛乳、白湯の提供、トイレに行った時に腹部マッサージをしています ・日中、家事などをして頂き、身体を動かして貰っています 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴日は決まっているが、入居者様の意向を確認した上で入浴を行っています ・温度や湯舟に浸かる時間に対応をしています 		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 寒すぎず、暑すぎない環境を作っています 自室でお昼寝したり、リビングでテレビ、新聞を見たり、うたたねしたりと穏やかに休息できるようにしている お昼寝が必要な方は休んで頂いています 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> どんな薬を飲んでいるのか把握できるようにしています 薬手帳や個人ファイルに薬の詳細が載っている為確認しています。内服の変更がある時には受診往診ノート、申し送りファイルに記載してスタッフに伝えています 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 新聞、雑誌、テレビ鑑賞などやりたいことが出来る様に支援しています 行事、家事、散歩、畑の収穫などしています 上記以外でも対応を増やしたい 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 日中は屋外に自由に出入り出来る様になっていて、スタッフは同行して外へお散歩したりしています 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 要望によっては少額のお金を持っています 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の希望で対応をしています 携帯電話を所持している入居者様もいて、通話が出来入居者様には電話によるやり取りも出来る様に対応をしています 年賀状は毎年スタッフと一緒に書いて出しています 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 不快な光、音がない様に心地よい環境を作っています 廊下には行事ごとの写真が飾ってあります。天候に応じて窓やカーテンを開閉し、冷暖房を適切に使用しています 		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> リビングには大きなソファがあり、入居者様がテレビをみたり、お昼寝出来るようになっています。東リビングにもソファがあり、時々入居者様がお一人で座って落ち着いている時があります 		

グループホーム花

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で使用していたタンス、食器などを持ってきて頂き、見慣れた、使い慣れたものを使える様に対応をしています ・使い慣れた私物、ご家族様の写真などがたくさんおいてあります 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの場所、自分の部屋がわかる様に目印などをつけています ・入居者様の状態に合わせて家具の配置換えをしたりしています ・居室やトイレ、廊下に手すりを設置しています ・まだまだ本人の力を発揮できることを増やせると思う 		